

R8 湯前小学校 校内研修全体計画

1 研修目的

教育の現場における実践的研修を相互に深め、教職員としての資質の向上に努めることによって学校教育の充実を図る。

2 研修の視点

- (1) 本校の学校教育目標の達成に向けて研鑽を積む研修
- (2) 教職員としての視野を広げ、教育的実践力を高める研修
- (3) 児童の変容を把握し、授業改善につなげる研修
- (4) 学校職員が相互に協働し、適切に組織を形成しながら運営していく研修

3 研修の基本方針

(1) 学習指導に係る研修

「熊本の学び推進プラン」に基づき、「児童の視点に立った『児童の学びの側から考える』授業づくり」の推進を図る研修を進める。

- ① 授業研究会、公開授業の実施
- ② 指導力向上を図る講話（講師招へい等）の実施

(2) 人権教育・道徳教育に係る研修

- ① 現地研修等の実施
- ② 授業研究会、公開授業の実施

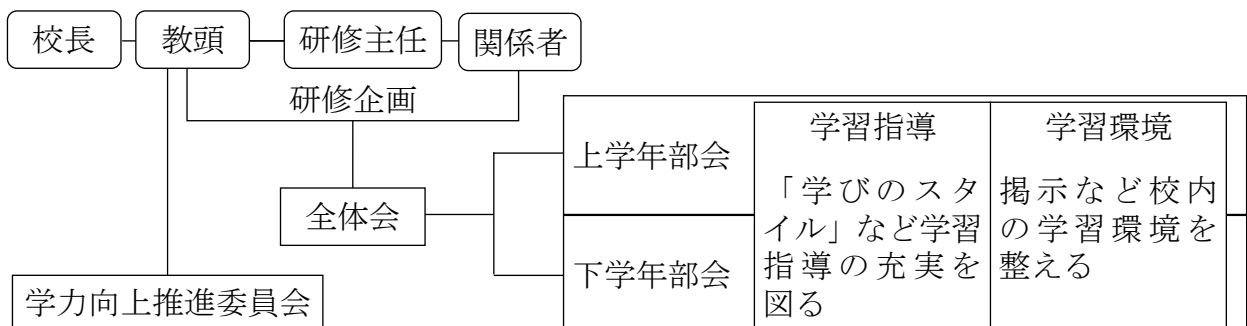
(3) その他の教職員の資質・能力の向上を図る研修

- ① 児童理解研修
- ② 特別支援教育研修
- ③ 実技研修（情報教育、救急救命等）
- ④ 幼保等小中連携に係る研修
- ⑤ 復講（各種研究会の報道）
- ⑥ その他（町教育委員会主催研修への参加等）

(4) 留意事項

- ① 各研修については、担当者と連携を図り設定する。
- ② 本年度、校内研修は長期休業期間中も含めて28回実施する。

4 研修の組織



5 研修の年間計画（町、教科等研究会含む）

	期 日		児童理解
1	4 / 7	児童理解、特別支援教育、アレルギー対応（全）	
2	4 / 9	今年度の研修計画	
3	4 / 22	特別支援教育	○上
4	4 / 27	人権学習年間計画、授業研決め	○下
5	5 / 20	I C T研修	
6	5 / 25	救急救命講習（全）	
7	6 / 10	授業研①（理科）	
8	6 / 17	授業研②（2年、6年） ※スクール・アシスト	
	6 / 26	町教育委員会主催合同研修会	
	7 / 1	教育振興会第1回教科等研究会	
9	7 / 8	教科等研究会の復講	○下
10	7 / 15	人権学習実践記録まとめ、1学期のまとめ	○上
11	7 /	特別支援教育講話（湯前町教育委員会主催）	
12	8 /	現地研修（人権教育）	
13	8 / 21	夏休みの参加研修の復講	
14	9 / 2	特別支援教育	
15	9 / 30	健康教育講話	
16	10 / 7	授業研③（2年、5年）	
	10 / 21	教育振興会第2回教科等研究会	
17	10 / 23	幼保小中合同研修 授業研④（1年・6年）	
18	10 / 28	教科等研究会の復講	○下
19	11 / 18	授業研⑤（3年） ※スクール・アシスト	
20	12 / 2	授業研⑥（特別支援学級）、公開授業の準備（道徳）	○上
21	12 / 9	授業研⑦道徳（1年） ※スクール・サポート	
22	12 / 18	P T A家庭教育講演会	
23	12 / 23	2学期のまとめ、人権レポート作成について	
24	1 / 7	学力調査分析1	
25	1 / 20	授業研⑧（5年） ※スクール・アシスト	
26	1 / 27	人権教育レポート研修	
27	2 / 3	学力調査分析2	○
28	2 / 17	研修のまとめ、反省	

※運動会期間（練習含む）は、原則、校内研修を設定しない。

※校内研修の後半に「児童理解」の時間を設定する。

※講師招聘・・・球磨教育事務所、県立教育センターの各事業を活用する。

なお、4年生担任は別途「指導主事活用事業」を活用する予定。

※授業研究会・・・授業づくりの研修という考え方。児童が「わくわく」し、「分かった」「できた」「もっとやってみよう」と感じる授業について、教師が協働的に取り組み、自身及び同僚の指導力向上を目指す機会とする。